

商品概要		京急1000形		情報公開日	情報更新日	
				2021年4月15日		
商品番号	商品名			シリーズ	税込価格	発売時期
1226T	京急1000形 4両編成動力付きトータルセット			塗装済み 再生産	¥18,590	2021年9月
1226C	京急1000形 増結用先頭車2両セット			塗装済み 再生産	¥8,470	2021年9月
1226M	京急1000形 増結用中間車2両セット			塗装済み 再生産	¥7,480	2021年9月
 <p>写真は前回製品・組立見本です。 ©KEIKYU</p>				<p>京急1000形は1959年より356両が製造された18m3扉のロングシート通勤型車両です。全盛期には京急の在籍車両の半数以上を占め、文字通り「京急の顔」として活躍しました。2011年まで全車廃車となっていますが、一部車両が北総開発鉄道や高松琴平電気鉄道などへ譲渡され高松琴平電気鉄道へ渡った車両は現在も活躍を続けています。なかには京成電鉄へリース→千葉急行へ貸出となった編成も存在しました。 製品は136両が製造された屋上に集中クレーンを配置した1000形最終製造グループで、1988年～1994年に更新工事が施された姿をプロトタイプとしています。</p>		
商品の特徴						
<p>■人気の京急1000形塗装済みキットを再生産</p> <p>■別売のライトユニットを組み込むことでライト点灯に対応</p> <p>■トータルセット(No.1226T)には4両分の車体部品とコアレスモーター動力ユニット、床下機器、台車、パンタグラフ、前面・側面種別行先表示ステッカー、前面・側面車両マークが含まれます。</p> <p>■増結用先頭車2両セット(No.1226C)には2両分の車体部品と、床下機器、台車、パンタグラフ、前面・側面種別行先表示ステッカーが含まれます。</p> <p>■増結用中間車2両セット(No.1226M)には2両分の車体部品と、床下機器、台車、パンタグラフ、側面種別行先表示ステッカーが含まれます。</p> <p>■前面・側面種別行先表示、運行番号、優先座席、弱冷房車、車椅子マークは付属ステッカー選択式</p> <p>■ヘッドライト・テールライトを点灯化する場合は、別売のライトユニット(No.8367)が必要</p> <p>※商品の仕様は一部実車と異なる場合があります。</p>						
商品セット構成						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディ(塗装済み)</li> <li>・屋根(グレー塗装済み)</li> <li>・床下機器(成型色:ダークグレー)</li> <li>・パンタグラフ(PT43N)</li> <li>・床板</li> <li>・車両マークインレタ(No.1226T)</li> <li>・クレーン(銀色塗装済み)</li> <li>・ガラス(ワイパー・窓サッシは銀色・Hゴムは黒色で印刷済み)</li> <li>・小物パーツ</li> <li>・台車(TH-1000)</li> <li>・ステッカー</li> <li>・コアレスモーター動力ユニット(No.1226T)</li> </ul>						
商品セット構成(編成図)						
<p style="text-align: center;">←三崎口・浦賀 品川・泉岳寺→</p> <p>No.1226T 京急1000形 4両編成動力付きトータルセット</p> <p style="text-align: center;">◇ ◇</p>  <p>デハ1000 デハ1000 デハ1000 デハ1000</p> <p>No.1226C 京急1000形 増結用先頭車2両セット</p> <p style="text-align: center;">◇</p>  <p>デハ1000 デハ1000</p> <p>No.1226M 京急1000形 増結用中間車2両セット</p> <p style="text-align: center;">◇</p>  <p>デハ1000 デハ1000</p>						
別売対応品						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■GM 室内照明ユニット(狭幅・白色)(No.8461:2本入り、No.8462:4本入り)</li> <li>■GM ライトユニット G [電球色](No.8367)</li> <li>■TOMIX TNカプラー(密連型【電連付き】・グレー)(JC25)(先頭部のみ対応)</li> </ul>						